

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の整備に向けて

1. 背景・経過について

個人や世帯が抱える課題が複合化・複雑化しており、8050問題や、ヤングケアラー、世帯全体が孤立している状態など、子ども、障がい、高齢等の個別の制度・サービスではケアしきれないケースが発生しております。

本市では、令和2年度より「断わらない相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」の3つの支援を一体的に実施する市全体の体制整備に向けた協議を開始し、令和3年度より地域共生推進課に、つなげる支援室及び生活困窮者相談支援担当を設置し、重層的支援体制整備事業の移行準備事業に取り組んでおります。

2. 現状・課題について

(1) つなげる支援室での取組み状況

① 相談対応件数（R4.1月末時点）

実人数	延べ件数
106人	398件

② 総合調整のための「つなげる会議」の開催

必要な支援関係機関を招集し、役割分担や支援の方向性について協議。

③ つなげる相談支援体制整備チーム会議の設置

複雑化・多様化・深刻化する市民の福祉課題に対する相談支援体制の充実に向け、相談支援に関する事業や業務を所管する課で協議。

④ 庁内の関係課及び支援関係機関に対してヒアリング

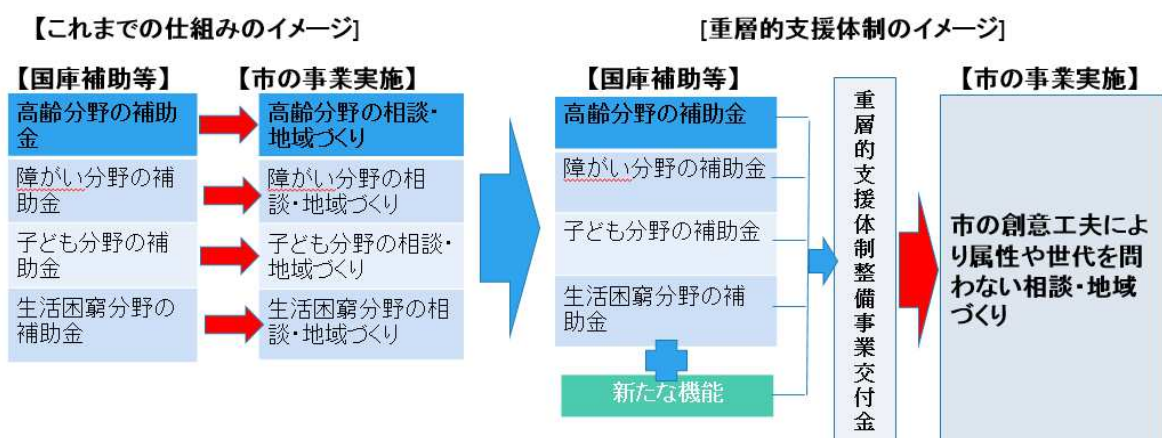
庁内の関係課や支援関係機関に対して、各制度における取組の現状、ケース対応で困っていること、事業実施にあたっての意見、提案等を聴取。

⑤ 福祉職（福祉士、心理士）の人材育成方針作成、福祉職等相談対応職員への研修の実施

(2) 主な課題

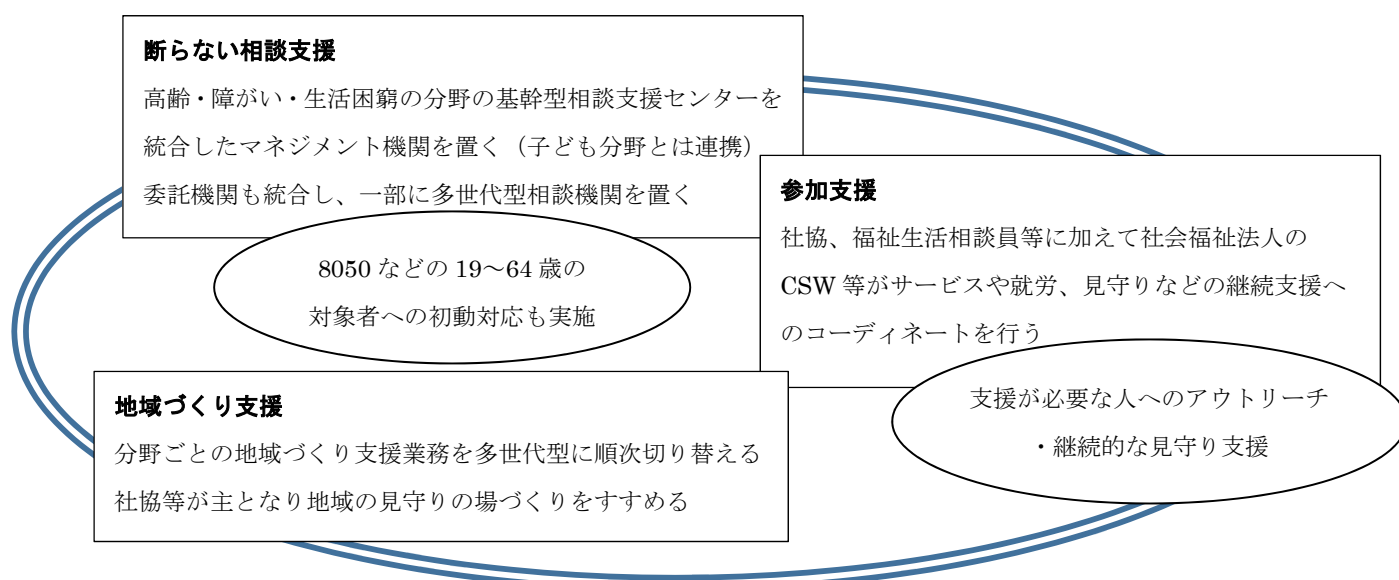
- ・これまでの分野別の相談支援、地域づくりを統合または連携強化
- ・支援の必要な人への積極的なアプローチ
- ・既存の組織や人を生かした地域での居場所づくりとコーディネーターの役割の確保
- ・社会福祉法人等が取り組んでいる公益事業についても相談支援ネットワークに位置づける
- ・福祉職等相談対応職員への人材育成の必要性

【重層的支援体制の仕組み】



3. 今後の方向性とスケジュール

(1) 本市での重層的支援体制のイメージ



4. スケジュール

令和4年度
<ul style="list-style-type: none"> ・参加支援・地域づくり支援の既存事業の抽出・役割分担の整理 ・予算の積算と組み換えに向けた調整 ・マネジメント機関の設置にかかる組織検討 ・関係機関との調整 ・福祉職の人材育成方針の策定及び研修計画 ・重層的支援体制整備事業実施計画の策定
令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> ・八尾市版重層的支援体制整備事業を開始 ・市民への周知